

小・中学校における 租税教育指導事例集

令和6年3月

登米市租税教育推進協議会

発刊に寄せて

登米市租税教育推進協議会並びに租税教育推進協力者の皆様のご尽力をいただき、ここに「令和5年度租税教育指導事例集」が刊行されますことを心からお慶び申し上げます。

「納税」は「勤労」「教育」とならんで、国民の三大義務の一つです。納められた税金は「国民の健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となり、年金・医療などの社会保障・福祉や、私たちの生活を守る水道・道路等、社会インフラの整備、そして教育・警察など公的サービスを運営する費用に充てられます。

このように国民が互いに助け合い、共によりよい社会を作っていくために必要な制度であることを、広く理解していくことはとても大切です。

近年、こうした公的サービスの重要性を認識する機会が多く感じられます。例を挙げますと、次世代の社会を担う子供一人ひとりの育ちを社会全体で応援するための経済的な負担の軽減や環境整備、また、本年1月に発生した能登半島地震の復旧・復興などです。税金のおかげで我々の生活が保障されているとともに、財政面からも税が支えていることを考えますと、租税教育について学習し、興味をもち、見聞を深め、理解していくことは大事な取組と考えております。

本年度も関係団体の皆様との連携・協調により、小学校20校、中学校5校で租税教室が開催され、税金についてのより専門的な学習が進められたことは、誠に有意義であり、その推進にあたっていただいた各校及び佐沼税務署のご努力に敬意を表します。

さらに本書では、授業での租税教育指導の進め方について、具体的な実践事例が紹介されています。いずれの学校でも児童生徒に「税」について分かりやすく理解させるため、工夫を凝らして取り組んでおり、今後の租税教育活動に大変参考になる内容となっています。各小・中学校におかれましては、ここに紹介されています租税教育実践事例を、今後ぜひ参考にさせていただきたいと思えます。

結びに、各小・中学校で租税教育の推進にご協力いただいた先生方のご努力とご支援、並びに本事例集の取りまとめに当たられました佐沼税務署の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げ、発刊に際しての挨拶とさせていただきます。

令和6年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会教育長

小野寺 文晃

目 次

小学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

① 第6学年	北方小学校	教 諭	小 川 裕 輔		1
② 第6学年	米谷小学校	教 諭	成 澤 綾 香		2
③ 第6学年	石森小学校	教 諭	鈴 木 理 英		3
④ 第6学年	上沼小学校	教 諭	千 葉 美 香		4
⑤ 第6学年	米山東小学校	教 諭	三 塚 佑 菜		5
⑥ 第6学年	津山小学校	教 諭	西 條 裕 之		6

中学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

① 社会科	新田中学校	教 諭	清 水 裕 治		7
② 社会科	石越中学校	教 諭	油 井 芳 人		8

令和5年度 租税教育推進協力者		9
-----------------	-------	---

令和5年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿		10
--------------------------	-------	----

歴代租税教育推進協力者		11
-------------	-------	----

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金の関わり

登米市立北方小学校教諭 6学年 小川 裕輔

実施年月日：令和5年5月24日 32名

1 実践計画・指導のねらい

児童の多くは、税金という言葉は知っているものの、その目的や種類、使われ方等について理解している児童は少ない。そこで、社会科の学習やゲストティーチャーによる「租税教室」を通して、税金の目的や種類、使われ方等について理解を深めさせるとともに、自分たちの生活をよりよくするためのものであることに気付かせる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、子どもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・税金について知っていることを話し合う。 ・税金の働きについて教科書や資料集を使って調べる。	○ 税金についてどんなことを知っていますか。 ● 消費税や自動車税がある。 ● 税金がどのように使われているのか、よく分からない。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
2	・税金の働きについて調べたことをまとめる。	○ 税金にはどんな働きがありますか。 ● 学校や児童館など、公共施設をつくったり維持したりするために使われている。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍） 副教材「わたしたちのくらしと税金」
3	・税金と公共施設とのかかわりについて理解する。	○ 子育て支援センター「あすばる」の運営には、どんな費用が必要ですか。またその費用は、どこから出ていますか。 ● 施設を建てたり修理したりする費用、管理する人への給料。 ● 建設費用に1億円以上もかかるなんてびっくり。 ● それらの費用は、税金で賄われている。 ● 登米市でも、同じような施設に税金が使われているのかな。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
4	・税金の種類や使われ方について知り、その必要性を実感する。 ☆租税教室	○ 税金が使われている施設はどれでしょう。 ● 公民館、学校、警察署。 ○ 税金がなくなると、どのようなことが起こるでしょうか。 ● ゴミがあふれたり道路や橋が直せなくなったりする。 ● 火事が起きても消防車や救急車をすぐに呼べない。 ● 安心して生活することができなくなる。 □ 使用教材名 視聴教材「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
5	・登米市の収入の内訳や使い道を知る。	○ 登米市では、税金がどのように使われていますか。 ● 様々な公共施設や市民の生活に関わることに使われている。 ● 特に、医療や福祉関係に多く使われている。 ● 学校にも多くの税金が使われている。 □ 使用教材名 副教材「ToMe」（登米市広報）
6	・学習を振り返り、学んだことを絵はがきに表現する。（税に関する絵はがきコンクールに応募）	○ 税金は、わたしたちにとってどのようなものですか。 ● 安全に安心して暮らすために必要なもの。 ● 税金があるおかげで、みんなが快適に暮らせる。 ● 税金の有り難さを忘れないようにしたい。 副教材「登米市の予算とまちづくり」（令和5年度当初予算）

【指導のポイント】≪1時間目≫

児童にとって身近な場面（買い物や車に関すること等）を想起させ、税金と自分たちの関わりについて考えるきっかけを与えた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

学校や公民館など、児童にとって身近な具体例を示しながら「公共」の意味を理解させた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

校舎内にある児童クラブに通っていた児童の話を取り入れ、施設やその必要性について具体的にイメージさせた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

税金に関わるクイズやDVDの視聴、ゲストティーチャーの講話によって、児童が税金の使われ方を理解したりその必要性を感じたりできるようにした。

【指導のポイント】≪5時間目≫

自分たちのまちの予算を調べることで、自分たちの生活と税金の関係をより身近に感じさせられるようにした。

【指導のポイント】≪6時間目≫

互いの絵はがきについて紹介する活動を取り入れることで、税金に対する見方、考え方を広げさせるとともに、その必要性について再認識させた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

◎ 租税教室や税に関する絵はがきコンクール、登米市の予算について調べる活動を取り入れたことで、税金が自分たちの生活にとって大切なものだと思わせることができた。

◆ 児童がより身近に税のことを感じたり考えたりできるようにするため、児童と保護者が税について話し合う、市役所の方に予算の立て方や実例等を説明してもらおうなどの手立てを検討する。

租税教育実践レポート わたしたちの生活と税金

登米市立米谷小学校教諭 6学年 成澤 綾香
実施年月日:令和5年5月19日 11名

1 実施計画・指導のねらい

多くの児童は「消費税」という言葉を知っており、税金は自分たちの暮らしのために使われているということは理解できている。しかし、誰が税金の使い道を決め、税金がどのように使われているかということへの興味関心は高いとは言えない実態である。そこで、社会科の学習(国の政治のしくみと選挙)やゲストティーチャーを招いての「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解させ、税金についての正しい知識を身に付けさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況(単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導)

時間	学習内容	主な発問 (○), 児童の反応 (●), 使用教材等 (□)
1 国会の働き	◇国会の働きや選挙の働きについて、国民の願いとの関連で調べる。	○ <u>国会の働きについて調べよう。</u> ● 国会には、衆議院と参議院がある。 ● 選挙で選ばれた国会議員によって、国民の生活に関わる法律や政治を進めるための予算などを多数決で決める。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」P24～25
2 選挙のしくみと税金の働き	◇選挙のしくみや税金の働きについて、国民の生活との関連で調べる。	○ <u>選挙はどのように行われているのでしょうか。</u> ● 18歳以上の国民に選挙権があり投票することができる。 ● 選挙で国会議員を選ぶときの大切な視点の一つが税金の使われ方 ○ <u>あなたはどちらに投票しますか。</u> ● 増税は嫌だからB党。 ● 国をよくするために税金は必要だからA党。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」P26～27
3 租税教室 (ゲストティーチャー)	◇税金について知っていることを出し合い、税金の種類と使い道について調べていくことを確認する。  	○ <u>税金とは何だろう。</u> ● 私たちも消費税を払っている。住民税。自動車税(子どもから出た答えを黒板に貼っていく) ○ <u>税金が使われているところと使われていないところに分けよう。(写真付きマグネット)</u> ○ <u>税金がなくなったらどうなるだろうか。</u> ● 大変なことになる。 □ 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」DVD ● 1億円の重さを体感した。   
4 租税教室の振り返り	◇税金について学んだことを基に、「税に関する絵はがきコンクール」に応募する。	○ <u>税金の大切さや税の果たす役割について学んだことをはがきにかきましよう。</u>
5 税金の学習のまとめ	◇税金の学習で学んだことを振り返る。	○ <u>税金について学んだことをロイロノートに提出しましょう。(児童の感想)</u> ● 租税教室では、税金がないと僕たちの生活が不便になってしまうと分かり税金の大切さがすごく分かりました。 ● 増税はちょっと嫌だけど、税金の大切さを知ることができました。 ● DVD もとても分かりやすかったです。

【指導のポイント】《1時間目》
国会で決まること予算の議決、条約の承認、弾劾裁判所、国会は立法機関など、難しい言葉が一度に出てきたので、言葉をかみ砕いて説明した。

【指導のポイント】《2時間目》
デジタル教科書を活用し、選挙の様子を見せ、高校生や高齢者などさまざまな年齢の人が投票していることに気付かせた。
また、投票率の移り変わりのグラフを見せ、投票率が年々減少していることに気付かせ、自分の一票が選挙に反映でき、代表者が決まることや一票の重さを理解させた。

【指導のポイント】《3時間目》
日本にはどんな税金があるのか子どもたちに考えさせ、子どもたちから出た回答をゲストティーチャーが黒板に貼っていった。
また、税金が使われているか使われていないかを問い、写真付きマグネットで貼らせていった。子どもたちにとって身近な施設が提示されたので、生活に即して考えることができた。

児童の作品



3 実践の成果(◎)と課題(◆)

(租税教室実施後、教師自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考にしてほしい事項など)

- ◎ ゲストティーチャーに来ていただき、税金について丁寧に教えていただき、教科書で学んだことと関連付けて理解が深まった。税金や増税が嫌だと感じていた子も税金の使われ方や納税の必要性を感じたようだった。
- ◎ 租税教室の後に「税に関する絵はがきコンクール」に応募したが全員意欲的に取り組むことができた。
- ◆ 税金の種類がたくさんあるため、一つ一つについての指導の時間は十分確保できなかった。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立石森小学校教諭 6学年 鈴木 理英

実施年月日：令和5年6月30日 13名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、「税金」「消費税」という言葉を知っており、その消費税が8%や10%であることなどを知っている児童もいた。しかし、その働きや使われ方を明確に理解している児童はほとんどおらず、「何のために、消費税を払っているのか。」と疑問を持っている児童もいた。そこで、本単元では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解し、税金の必要性についての正しい知識を身に付けて、自分たちの生活と税金の関わりについて気付かせていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○），こどもたちの反応（●），使用教材等（□）	
1	【国の政治のしくみと選挙】 ・選挙のしくみと税金の働きについて調べ、税金が私たちの生活とどのように関わっているのかを理解する。	○ 税金の働きについて調べましょう。 ● 税金にはいろいろな種類がある。 ● 国の税金の集められ方や使われ方は、選挙で選ばれた国会議員が決める。 ○ 増税についてA党とB党のどちらを選ぶか考えましょう。 ● お年寄りが増えているから、医療費などのことを考えて、増税したほうが良い。 ● 消費税を増やすと、買い物などをするのを我慢する人が多くなると思うので、増税しないほうが良い。 □ 教科書 P26～27 社会科資料集（光文書院）P16, 19	【指導のポイント】＜1時間目＞ 税金の使われ方について、自分の生活に関わっていることを実感できるように、増税か否かについて考え、話し合わせた。
2	【東日本大震災の発生と震災への緊急対応】 ・東日本大震災の被害の様子や緊急対応について調べる。	○ 地震発生直後の市や県、国の動きを調べましょう。 ● 市は災害対策本部を設けて、避難所を開設したり、被害状況を確認したりしている。 ● 宮城県や国は、被災地に自衛隊を派遣したり、必要な物資を送ったりするために動いている。 □ 教科書 P46～49 社会科資料集（光文書院）P22～23	【指導のポイント】＜2時間目＞ 気仙沼市の様子を定点カメラで撮影した画像を提示し、がれきが撤去され、道路ができ、建物が作られ、町が少しずつ変化していく様子を確認させた。 災害救助法や災害対策基本法についても取り上げ、災害の発生前から、対応するための体制ができていることにも気付かせた。
3	【復興・復旧に向けた国の支援】 ・復旧・復興に向けた国の支援について調べ、復旧・復興のために自分たちが納めている消費税も役立っていることを理解する。	○ 復旧や復興に向けて国が行った取組を調べましょう。 ● 復旧を進めるために第一次補正予算を成立させた。 ● 東日本大震災復興基本法を成立させた。 ● 国民や企業は、復興特別税を国に納めることになった。 □ 教科書 P50～51 社会科資料集（光文書院）P22～23	【指導のポイント】＜3時間目＞ 東日本大震災復興基本法や復興特別税についても取り上げ、税金が、震災からの復旧・復興に必要な不可欠であることに気付かせた。
4	【租税教室】 ・税金と自分たちの生活との関わりを知り、税金の重要性について理解する。 (登米法人会からゲストティーチャーを招いて実施)	○ 税金が使われているものと使われていないものに分けましょう。 ● 学校、公民館、警察署、消防署などには税金が使われている。 ○ 税金がなくなるとどんなことが起こるのか考えてみましょう。 ● 町中がゴミだらけになってしまう。 ● 学校の物を使うのにも、お金を払わないといけなくなる。 □ 税のDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」	【指導のポイント】＜4時間目＞ 登米法人会の方をゲストティーチャーとして迎え、税金の基礎知識についての講話をいただいた。1億円のレプリカをお借りし、金額の大きさを実感させた。税金がなくなるとどのような社会になるのかが分かるDVDを視聴し、税金の必要性に気付かせた。
5	【標語・絵葉書作り】 ・税金について学んだことを生かし、「税に関する標語」、「税に関する絵葉書」を作成する。	○ 税金について学んだことを生かして、標語と絵葉書を作ってみましょう。 ● 税金の大切さが分かる標語を作ろう。 ● 税金が使われている建物の絵を描いてみよう。	【指導のポイント】＜5時間目＞ 標語と絵葉書を作成することで、税金についての学習のまとめとした。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 租税教室では、クイズやDVDの視聴等を通して、税金の働きを分かりやすく教えていただき、児童の多くは税金の必要性について理解することができた。
- ◎ 税に関する標語や絵葉書作りを通して、税金の大切さを再認識させることができた。
- ◆ 登米市の予算や宮城県の予算を具体的に調べる時間がとれなかった。市や県の税金がどこでどのように使われているのかを児童が家庭学習等で自主的に調べられるように資料を提示したり、市や県のホームページの紹介等をしていきたい。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活を支える税金

登米市立上沼小学校教諭 6学年 千葉 美香

実施年月日：令和5年5月31日 19名

1 実践計画・指導のねらい

学級で税金について尋ねたところ、多くの児童は「税金」という言葉は知っており、生活経験から「買い物をするとき10%の消費税を支払っている」ということも理解できていた。しかし、なぜ税金を納めなければいけないのかということや、納められた税金がどのように使われているのかということについてはよく理解できていない児童がほとんどであった。本単元では、税金が国や県、市が行っている対策や事業に使われていることを理解させるとともに、納税の大切さについても考えさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	【国会の働き】 ・ 国会の働きを知り、国会は国の政治の方向を話し合っていることを理解する。	○ <u>国会の働きについて調べよう。</u> ● 国会では、国の予算や法律を決めている。 ● 国の予算と税金に関係があるのではないかな。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」
2	【選挙のしくみと税金の働き】 ・ 選挙のしくみを知ることを通して、国会での話し合いは選挙で選ばれた国会議員により進められていることや、国会議員によって税金の使われ方が決められていることを理解する。	○ <u>選挙のしくみと税金の働きを調べよう。</u> ● 国会議員は、18歳以上の国民による選挙で選ばれる。 ● 税金の使われ方を決めるのは国会議員だから、選挙のときは投票に行った方がいい。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」
3	【子育て支援の願いを実現する政治】 ・ 子育て支援の願いを実現するために、税金が重要な役割を果たしていることを理解する。	○ <u>「あすばる」の建設費や運営費はどこから出ているのか調べよう。</u> ● 利用料が0円だということは、「あすばる」の建設費や運営費に、税金が使われているのではないかな。 ● 税金は、わたしたちの生活を支える大切なものだ。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」
4	【租税教室】 ・ 税金の種類や使われ方、税金の必要性について理解する。 (登米法人会のゲストティーチャーによる授業)	○ <u>税金とわたしたちの生活とのかかわりを考えよう。</u> ● 税金には消費税以外にもいろいろな税がある。 ● 学校や公民館など、公共施設には税金が使われている。 ● 税金がないと、安心・安全な生活を送ることができない。 □ DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 
5	【学びを深める】 ・ 税金について学んだことをまとめ、意見を交流し合う。	○ <u>税金について学んだことを振り返り、自分の考えをまとめよう。</u> ● 税金は、わたしたちの生活に欠かせないものだということが分かった。 ● 税金の大切さを知ったので、大人になったら選挙に行き、納税の義務もしっかり果たしたい。 □ 副教材「わたしたちのくらしと税金」

【指導のポイント】＜1時間目＞

国会では、税金の使われ方についても話し合われていることを確認し、国会と税金のかかわりに気付かせた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

選挙で自分が選んだ候補者に投票することは、税金をどのように使うのか自分たちで決めることにつながることに気付かせた。

【指導のポイント】＜3時間目＞

「あすばる」にかかる費用には、多くの税金が使われていることを理解させることで、納税の大切さについても考えさせた。

【指導のポイント】＜4時間目＞

クイズに答えたり、1億円のレプリカに触れたりすることで、税金に興味関心を持つことができた。また、DVDは子どもたちにとって分かりやすい内容だったので、税金の働きや大切さについて理解できた。

【指導のポイント】＜5時間目＞

学習のまとめとして感想を書かせたが、自分の言葉で表現することで税金の大切さを実感させることができた。また、社会を支える一員としての自覚を持つ児童もおり、単元を通して深く学ぶことができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 税について教科書で学習した後に租税教室を実施できたので、教科書で得た税に関する知識を、自分たちの身近な生活と関連付けて学ぶことができた。
- ◎ 租税教室では、税金が使われている施設かそうでないかをクイズ形式で答えたり、1億円のレプリカを持って実際の重さを体感したりと、税について楽しく学ぶことができた。
- ◆ 単元を通して学んだことをまとめるだけでなく、更に税金の役割に焦点を当てた学習をするなど工夫をすれば、税金についてより深く学ばせることができたのではないかなと思う。

租税教育実践レポート

わたしたちの暮らしと税金の関わり

登米市立米山東小学校教諭 6学年 三塚 佑菜

実施年月日：令和5年5月26日 23名

1 実践計画・指導のねらい

「税金」という言葉を知っていても、その働きや使われ方について理解している児童は少ない。そこで、本実践では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての「租税教室」の実施を通して、税金の役割や必要性について理解を深めたい。また、税金について興味・関心を持ち、自分たちの生活との関わりについても気付くことができるようにしたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、子どもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	【国の政治のしくみと選挙】 ・国会の働きについて教科書やタブレット端末を活用して調べ、ノートにまとめる。	○ 国会の働きについて調べましょう。 ● 法律を決めるはたらきがある。 ● 税金の使い方も国会で決めている。 ● 国会議員は、選挙によって選ばれる。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
2	【国の政治のしくみと選挙】 ・選挙のしくみや税金の働きについて教科書やタブレット端末を活用して調べ、ノートにまとめる。	○ 税金はどのように集められるのでしょうか。 ● 消費税、所得税、住民税等 ○ 税金はどのように使われているのでしょうか。 ● 消防、学校、医療等 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍） 資料集（社会科資料集6年 文溪堂）
3	【租税教室】 ・登米法人会からゲストティーチャーを招き、税金の種類や使われ方、税金の必要性について知る。	○ 税金を使って作られた施設はどれですか。 ● 図書館、公園 ○ 税金が払われないとどうなるのでしょうか。 ● 困る人が出るのではないかな。 ● 救急車を呼ぶのに何万円とお金がかかるとは知らなかった。  □ 使用教材名 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
4	【震災復興の願いを実現する政治】 ・市民の願いを実現するために税金がどのように使われたのか、教科書を活用して調べ、ノートにまとめる。	○ 震災が起きたとき、税金はどのように使われたのでしょうか。 ● 復興特別税があった。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
5	【これからに向けたまちづくり】 ・学んだことを振り返り、どんな施設があったらよいか考え、学習プリントにまとめる。	○ 地域にあったらいいなと思う公園を考えましょう。 ● 広いスペースがあるといいな。 ● 子供連れの人にも使えるように遊具を設置したい。 ● きれいな公園になるようにゴミ箱を設置したい。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
6	【学んだことを生かそう】 ・学んだことをもとに、「税に関する標語」を作成する。	○ 税金の大切さや働きを伝えるための標語を考えよう。 □ 使用教材名 漫画「おじいさんの赤いつぼ」

【指導のポイント】＜1時間目＞

国会では、税金の使い道について話していることや、国会議員は国民からの投票で選ばれていることをおさえた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

消費税という言葉は身近であるが、他の税の種類については知らない児童が多い。どのような税なのか、調べたりまとめたりする時間を設けた。また、税金の使い道についても資料集の挿絵をもとに捉えさせた。

【指導のポイント】＜3時間目＞

ゲストティーチャーの講話を聞き、税金の使われ方について理解を深めることができた。DVD教材や1億円のレプリカなど、子供たちにとって分かりやすく、税金について身近に感じることができていた。税金の必要性に気付くことができた。

【指導のポイント】＜5時間目＞

これまでの学習を振り返りながら、これからの生活に生かすことができるよう、身近な地域に目を向けさせた。税金の役割をもう一度考え、どのように使うとよいかなど、自分事として考えさせた。

【指導のポイント】＜5時間目＞

学習のまとめとして、「税に関する標語コンクール」に出品する標語を考えさせた。いただいた漫画を読み返ししながら、税金の役割や必要性について捉えさせるようにした。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 租税教室では、分かりやすく税金の役割や使われ方を教えていただき、児童自身も税金の大切さについて理解することができた。また、登米市内の税金で運営されている施設を基に説明をいただいたので、税金を身近に感じることができた。
- ◎ 税に関する標語への作品応募を通して、社会科での学習や租税教室で学んだことを振り返ることができた。
- ◆ 学習の中で難しい言葉が多く出てくるため、理解するまでに個人差があったり、興味・関心を持たせることができない場面があったりした。身近なものと関連させながら指導をすることでより理解を深めさせたい。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立津山小学校教諭 6学年 西條 裕之

実施年月日：令和5年6月20日 15名

1 実践計画・指導のねらい

児童は、買い物に消費税が課されている程度の認識であり、税金が生活を支えてくれていることを知らずに過ごしている。そこで本単元の学習を通して、税金の種類や使われ方を確認し、自分たちの生活が税金によって支えられていることに気付かせたい。また、ゲストティーチャーによる租税教室を設定し、税金に対する興味や関心を高められるようにしたいと考える。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・国会の働きと選挙の仕組みについて理解する。	○ 国会の働きについて調べよう ● 国会では、予算や法律を決める働きがある。 ● 国会議員は、選挙によって選ばれる。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
2	・税金の種類や使い道について知る。 ・消費税の増税について、各自の考えを交流する。	○ 税金についてどんなことを知っていますか。 ● 買い物で消費税が10%かかる。 ● 教科書のお金に税金が使われている。 ● ○○税と聞けけれど、内容はよく知らない。 ● 自分の生活と税金に関わりがあるのか分からない。 ○ 消費税の増税は、した方がいいと思いますか。しない方がいいと思いますか。 ● 負担が増えて、生活が苦しくなる人が出てきそうだから反対。 ● 公共サービスを充実させるためにも必要。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
3	・租税教室	○ どんな税金を知っていますか。 ● 「消費税」「所得税」「自動車税」 ○ 税金はどんなことに使われていると思いますか。 ● 「ごみの処分」「市役所」「図書館」「パトカー」 ○ 税金がなかったら、どうなるでしょうか。 ● 交番で何かを頼むのが有料になる。ゴミが回収されず、町が汚くなる。火事になっても消火されない。 □ DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
4	・税金について学んだことを絵はがきで表現する。	○ 税金の大切さを絵はがきにして伝えよう。 ● 税金が使われているものを描こう。 ● 税金の大切さを呼びかけるデザインにしよう。 ● 税金がなかった場合も表現しよう。

【指導のポイント】＜1時間目＞

選挙で選ばれた国会議員によって、国民の生活に関わる法律や予算などを決めていくことを押さえた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

初めは、支払うお金が増えるという考えから反対派が多かった。しかし、税金のよさを調べさせてから意見を聞き直すと、増税は必要かもしれないという意見が多く出た。税金の必要性に気付かせることができた。

【指導のポイント】＜3時間目＞

ゲストティーチャーによる租税教室を通して、税金についての基礎的な知識を得ることができた。DVDを視聴したことで、自分たちの生活がいかに税金によって支えられているのか理解を深めることができた。



【指導のポイント】＜4時間目＞

完成した絵はがきを見せ合わせながら、税金の学習を通して分かったことや学んだことを交流させた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ ゲストティーチャーによる租税教室を通して、税金の種類や使われ方を学んだことで、児童は税金の必要性に気が付くことができた。
- ◎ 税に関する絵はがきコンクールへの応募が学習のまとめにつながり、税に対する意識を高めることができた。
- ◆ 税金の種類を名称のみ紹介したが、児童になじみのないものが多かったため、詳しい説明をする必要があった。
- ◆ 登米市の税に関する資料を提示しながら、自分の住む地域にも関心を向けさせるように工夫すれば良かった。



租税教育実践レポート

私たちの生活と財政

登米市立新田中学校教諭 3学年 清水 裕治

実施年月日：令和6年1月31日 20名

1 実践計画・指導のねらい

公共施設や公共サービスを考えることで、税金の目的や必要性を認識し、税金がなければ我々の生活は成り立たないことに気づかせたい。所得の種類によって異なる課税の方法を検討することで、公平な課税の方法とその課題について考えてさせる。所得税については累進課税制度があることや、他にも様々な課税の方法があり、複数の税金をうまく組み合わせることによって全体での公平性を確保しているということを理解させたい。また、グループで税額を決める議論を通じて、自分たちの支払う税金が国会での議論によって決められているということを体感させたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、子どもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・年収の多い人は税金も多いことを確認する	○ 年収が一番多いプロスポーツ選手は、いくらくらいもらっていると思いますか。またその人たちは、税金はいくらくらい払っていると思いますか。MLBの大谷翔平選手や、有名スポーツ選手、芸能人などの推定年収と税金がどのくらいだと思いますか。 ● 年収の多いプロスポーツ選手は多額の税金を支払っている。 □ 教科書「新しい公民」、年収ランキング表
2	・より良い税金の集め方について考える	○ 1班5人のメンバーで、課税所得100万円が1人、300万円が2人、1,000万円が1人の3パターンに分けて合計350万円の税を集める場合にどのように集めるかを班毎に話し合う。 ● 年収100万円の人は5%、300万円の人は15%、1,000万円の人は20%割合で集めるのが公平だ。 □ 教科書「新しい公民」
3	・累進課税について理解する	○ どのような形が理想的でしょうか。 ● 同じ額、同じ税率、収入に合わせて税率を変える □ 教科書「新しい公民」

【指導のポイント】≪1時間目≫

高額納税者による社会貢献等についても触れる。

【指導のポイント】≪2時間目≫

低所得者の税負担について考えさせ、既習事項である効率と公正、決まりの評価を考え、立場を買えても受け入れられるものになっている。

【指導のポイント】≪3時間目≫

同額の税金を課す公平な税負担と、税の逆進性について説明し、全体の公平性を確保しようとしていることを確認する。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ さまざまな収入の人の立場から、主体的に話し合いに参加し、良い形を模索することができた。
- ◎ 現代社会の見方や考え方、民主政治などの主権者教育、この後の経済の学習などを関連付けた系統的な学習ができた。
- ◆ 班での話し合い活動では、教科書の資料などもあり、初めから税率で考える班が多かった。

租税教育実践レポート

税金の種類と役割から財政の課題を考える

登米市立石越中学校教諭 3学年 油井 芳人

実施年月日：令和6年1月26日 32名

1 実践計画・指導のねらい

小学校の社会科の学習でも、税金について、公共施設に税金が使われていることや地方自治体の税収の内訳などを扱っている。本単元では、税の種類や財政の課題や政策、社会保障などの仕組みや諸問題について触れるだけでなく、それらに対して根拠を明確にした上で、自分の言葉で説明できる力を付けさせたい。日頃の授業では、ペアやグループでの活動を取り入れているが、その際に積極的に意見交換を行っている姿が見られる。本単元でも継続させ、自分の考えだけでなく、他者の考えも参考にしながら多面的・多角的に考察し、学習活動が深まるよう活動させたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	1 私たちの生活と財政 税金の種類をとらえる 財政の仕組み 税金の種類 税金の公平性	○ 世界各国の直接税と間接税の割合を見て、分かることは何だろうか。 ● ヨーロッパ州は高福祉・高負担であり、アメリカは低福祉・低負担である。日本はヨーロッパとアメリカの中間に位置する。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV、資料「私たちの暮らしと税」
2	2 財政の役割と課題 財政の役割と課題を考える 社会資本と公共サービス 財政政策と公共投資 日本の財政の推移と公債	○ 社会資本(インフラ)の整備や公共サービスがなければ、どうなってしまうだろうか。 ● 学校がボロボロで、電気が付かない。生活していくのが大変。民間企業が国外に行ってしまう。道路が舗装されない。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV、資料「暮らしと県税」、資料「登米市の予算とまちづくり」
3	3 社会保障の仕組み 日本の社会保障制度の仕組みを理解する 社会保障の4つの柱 社会保険 公的扶助 社会福祉 公衆衛生	○ G5の医療保障制度の給付内容と自己負担の概要を見せ、日本の社会保障制度を諸外国と比較したときに、分かることは何だろうか。 ● ヨーロッパの保障が手厚いが、日本も医療費が安いことがわかった。アメリカの医療費が高額である。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV
4	4 少子高齢化と財政 少子高齢化による財政への影響を理解する 介護保険制度 福祉社会の実現に向けて	○ 社会保障給付費の推移を見せ、なぜ社会保障給付費が年々増加しているのだろうか。 ● 社会保障を受ける人達が増えているから。少子高齢化が進んでいるから。財政政策として、国が多く集めているから。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV

【指導のポイント】＜1時間目＞

夏休みの課題であった税の作文で、市内で優秀賞をとった生徒の作文を紹介する。さらに教科書の図から、所得税の累進課税の仕組みを説明し、この税制の公平性について、メリットとデメリットをグループで話し合う。

【指導のポイント】＜2時間目＞

教科書の「日本の財政の推移」から税収と歳出、国債発行額についての変化を読み取らせ、公債の発行の在り方について自分の考えをまとめさせる。さらに、宮城県と登米市の財政についても現状を紹介する。

【指導のポイント】＜3時間目＞

日本の社会保障の4つの柱を説明し、それぞれがどのような人達を対象とし、どのような場面で機能するのか考えさせる。

【指導のポイント】＜4時間目＞

教科書にある、「社会保障給付費の推移」と「日本の人口と人口構成の変化」から読み取れることをペアで考える。さらに、福祉社会の実現に向けて、諸外国を参考にしながら、日本は今後どのように進めていくことが良いのか、グループで考える。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 日頃からニュースを見ていて税への関心がある生徒や税の作文の提出にあたって、税金に関する知識がある生徒が多かったことから、意欲的に学習に取り組む姿が多く見られた。ペアやグループワークでも積極的に意見交換を行っていた。
- ◆ 新しい言葉の説明や複雑なグラフや図の読み取りを行ったが、時間がかかってしまった。単元計画を見直し、時数を増やして授業を行うことで生徒の活動時間を十分に確保できると感じた。
- ◆ 税や財政について、こちらから資料を提示して授業を進めたが、自分たちで課題を見つけ、個人やグループで調べたりまとめたりする方法もあったのではないかと感じた。生徒の主体性をもう少し生かせればよかった。

令和5年度 租税教育推進協力者

【小学校】

(順不同)

所 属	担 任 ・ 担 当	氏 名
北 方 小学校	6 学年	小 川 裕 輔 教諭
米 谷 小学校	6 学年	成 澤 綾 香 教諭
石 森 小学校	6 学年	鈴 木 理 英 教諭
上 沼 小学校	6 学年	千 葉 美 香 教諭
米山東 小学校	6 学年	三 塚 佑 菜 教諭
津 山 小学校	6 学年	西 條 裕 之 教諭

【中学校】

所 属	担 任 ・ 担 当	氏 名
新 田 中学校	社会科	清 水 裕 治 教諭
石 越 中学校	社会科	油 井 芳 人 教諭

令和5年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿

(敬称略)

所 属	職 名	氏 名
登米市教育委員会	教 育 長	小 野 寺 文 晃
宮城県東部教育事務所	所 長	高 橋 秀 夫
登米市教育支援センター	所 長	笠 原 英 康
登米市小学校長会	会 長 (登米小学校長)	秋 葉 徹
登米市中学校長会	会 長 (佐沼中学校長)	及 川 幸 男
県北高等学校長会	登米地区代表 (佐沼高等学校長)	狩 野 秀 明
登米市生涯学習課	生涯学習課長	守 屋 乃 扶 子
登米市納税貯蓄組合連合会	会 長	三 田 静 夫
公益社団法人 登米法人会	会 長	菅 野 幸 一 郎
東北税理士会宮城県北支部 佐 沼 部 会	部 会 長	高 橋 徹
佐 沼 税 務 署	署 長	山 崎 裕 司
宮城県東部県税事務所 登米地域事務所	所 長	久 光 浩
登 米 市	税 務 課 長	高 橋 正 晴

【事務局】

佐 沼 税 務 署	総 務 課 長	仲 山 雄 一
佐 沼 税 務 署	総 務 係 長	早 坂 源 貴

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	西郷小	2 学年	鈴木 陽子 教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷 信一 教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷 仁一 教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原 仁 教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原 啓子 教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山 信弘 教諭
石越町	石越中	社会科	菊田 郁朗 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺 達郎 教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
豊里町	豊里小	3 学年	今野 文彦 教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東 博敏 教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原 満夫 教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原 純一 教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤 淑子 教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川 良子 教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木 幹雄 教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田 芳孝 教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	1 学年	岩 渕 安弘 教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野 達兄 教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉 直子 教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚 豊 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤 教子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川 茂法 教諭
米山町	米山中	社会科	及川 喬 教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤 徳明 教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
中田町	石森小	2 学年	畠山 蓉子 教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺 薦 教諭
石越町	石越小	3 学年	石山 順 教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井 浩志 教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池 信夫 教諭
中田町	中田中	社会科	吉野 幸信 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原 一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋 節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野 寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階堂 和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原 一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野 寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋 節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野 寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	新田第二小	6 学 年	菅 原 博 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	佐々木 勝江 教諭
東 和 町	嵯峨立小	6 学 年	高 橋 秀 憲 教諭
中 田 町	上 沼 小	5 学 年	鈴 木 典 幸 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	水 沼 勝 教諭
米 山 町	桜岡小	6 学 年	菅 原 善 彦 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	熱 海 宏 明 教諭
南 方 町	南 方 小	6 学 年	佐 藤 秀 明 教諭
登 米 町	講 師	社 会 科	三 浦 秀 治 教諭
石 越 町	石 越 中	社 会 科	山 家 英 樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	新田第二小	3 学 年	菅 原 博 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	萩 田 志 保 子 教諭
東 和 町	米 谷 小	5 学 年	鈴 木 真 理 教諭
中 田 町	浅 水 小	5 学 年	佐 藤 教 子 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	兵 藤 清 美 教諭
米 山 町	中 津 山 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	桜 井 ひ ろ み 教諭
南 方 町	東 郷 小	5 学 年	熊 谷 俊 子 教諭
迫 町	新 田 中	社 会 科	中 津 川 英 樹 教諭
米 山 町	米 山 中	社 会 科	石 田 康 之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	北 方 小	T T	岩 渕 安 弘 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	熱 海 宏 明 教諭
東 和 町	錦 織 小	5 学 年	菅 原 善 彦 教諭
中 田 町	桜 場 小	5 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	後 藤 智 子 教諭
米 山 町	米 岡 小	5 学 年	秀 由 佳 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	野 里 恵 二 教諭
南 方 町	西 郷 小	5 学 年	笹 原 明 美 教諭
迫 町	佐 沼 中	社 会 科	大 場 正 浩 教諭
中 田 町	中 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	森 小	4 学 年	金 野 ゆ か り 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	飯 塚 市 代 教諭
東 和 町	鱒 淵 小	6 学 年	中 井 充 夫 教諭
中 田 町	石 森 小	5 学 年	岩 渕 公 一 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	矢 野 美 智 代 教諭
米 山 町	善 王 寺 小	5 学 年	遠 藤 聡 子 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
南 方 町	南 方 小	6 学 年	石 井 大 志 教諭
東 和 町	東 和 中	社 会 科	高 橋 和 芳 教諭
豊 里 町	豊 里 中	社 会 科	矢 内 昭 裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	森 小	6 学 年	千 葉 ゆ か り 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	後 藤 俊 朗 教諭
東 和 町	米 川 小	5 学 年	佐 藤 建 雄 教諭
中 田 町	加 賀 野 小	5 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	伊 藤 悦 子 教諭
米 山 町	桜 岡 小	6 学 年	蓬 田 昭 彦 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	庄 司 紀 子 教諭
南 方 町	東 郷 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭
南 方 町	講 師	社 会 科	小 野 寺 彰 哉 教諭
登 米 町	登 米 中	社 会 科	藤 浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	新田第二小	5 学 年	門 田 り え 教諭
登 米 町	登 米 小	5 学 年	三 浦 教 順 教諭
東 和 町	嵯 峨 立 小	5 学 年	加 瀬 谷 武 敏 教諭
中 田 町	新 井 田 小	6 学 年	高 橋 広 満 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	千 葉 浩 幸 教諭
米 山 町	中 津 山 小	5 学 年	村 上 喜 久 美 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	山 口 沙 織 教諭
南 方 町	西 郷 小	5 学 年	遠 藤 恵 教諭
迫 町	新 田 中	社 会 科	山 家 英 樹 教諭
石 越 町	石 越 中	社 会 科	中 津 川 英 樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	北 方 小	6 学 年	佐 藤 浩 人 教諭
登 米 町	登 米 小	5 学 年	佐 藤 裕 教諭
東 和 町	米 谷 小	6 学 年	佐 藤 康 教諭
中 田 町	宝 江 小	6 学 年	佐 藤 祥 子 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	佐 藤 裕 志 教諭
米 山 町	米 岡 小	6 学 年	阿 部 孝 紀 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	高 橋 美 至 教諭
南 方 町	南 方 小	5 学 年	佐 々 木 和 枝 教諭
米 山 町	米 山 中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭
中 田 町	中 田 中	社 会 科	吉 田 淳 子 教諭

平成17年度

(順不同)

所 属			担任・担当		氏 名				
佐 沼 小	6 学 年	千 葉 克 憲 教諭							
錦 織 小	5 学 年	佐 藤 理 英 教諭							
石 森 小	5 学 年	鹿 野 俊 洋 教諭							
加 賀 野 小	6 学 年	鈴 木 周 教諭							
中 津 山 小	5 学 年	伊 藤 伸 子 教諭							
桜 岡 小	6 学 年	鈴 木 明 美 教諭							
東 郷 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭							
柳 津 小	6 学 年	加 藤 浩 二 教諭							
佐 沼 中	社 会 科	伊 藤 志 穂 教諭							
豊 里 中	社 会 科	寺 内 篤 教諭							

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田第一小	小	6 学 年	秋 葉 徹 教諭
嵯峨立小	小	5・6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
上 沼 小	小	6 学 年	熊 谷 真 理 子 教諭
浅 水 小	小	6 学 年	鈴 木 勝 彦 教諭
豊 里 小	小	6 学 年	寺 内 篤 教諭
善王寺小	小	5・6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
西 郷 小	小	5 学 年	千 葉 洋 子 教諭
横 山 小	小	5 学 年	佐 藤 秀 俊 教諭
東 和 中	中	社 会 科	高 橋 和 芳 教諭
南 方 中	中	社 会 科	菅 原 栄 治 教諭

平成19年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田第二小	小	6 学 年	永 倉 郁 裕 教諭
米 川 小	小	6 学 年	萩 原 達 也 教諭
鱒 淵 小	小	3・4 学 年	長 南 忠 男 教諭
宝 江 小	小	6 学 年	佐 藤 朱 美 教諭
中 津 山 小	小	6 学 年	米 島 久 智 教諭
米 岡 小	小	6 学 年	三 浦 弘 義 教諭
石 越 小	小	6 学 年	高 橋 聡 子 教諭
南 方 小	小	6 学 年	鈴 木 久 美 教諭
登 米 中	中	社 会 科	藤 浦 悟 教諭
津 山 中	中	社 会 科	飯 川 弘 芳 教諭

平成20年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	小	6 学 年	菅 原 善 彦 教諭
森 小	小	特 別 支 援	芳 賀 明 洋 教諭
桜 岡 小	小	6 学 年	千 葉 高 教諭
善王寺小	小	6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 津 山 小	小	6 学 年	村 上 喜 久 美 教諭
米 谷 小	小	5 学 年	佐 々 木 里 香 教諭
石 森 小	小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
加 賀 野 小	小	6 学 年	大 友 厚 子 教諭
新 田 中	中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭
石 越 中	中	社 会 科	田 口 勇 介 教諭

平成21年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	小	6 学 年	千 葉 恵 理 子 教諭
森 小	小	5 学 年	鈴 木 淳 教諭
錦 織 小	小	6 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
浅 水 小	小	6 学 年	小 野 寺 博 美 教諭
米 岡 小	小	6 学 年	佐 藤 英 明 教諭
南 方 小	小	6 学 年	高 橋 敏 子 教諭
柳 津 小	小	6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
佐 沼 中	中	社 会 科	小 山 紘 明 教諭
米 山 中	中	社 会 科	守 康 幸 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛	教諭
米 谷 小	社会科 主任	小 畠 宏 夫	教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子	教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹	教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂	教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有	教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎	教諭
豊 里 中	社 会 科	井 上 鮎 香	教諭
南 方 中	社 会 科	富 安 隆 文	教諭

平成23年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟	教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬	教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀	教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博	教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和	教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子	教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男	教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫	教諭
中 田 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
津 山 中	社 会 科	飯 川 弘 芳	教諭

平成24年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟	教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子	教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋	教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み	教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子	教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦	教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄	教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典	教諭
東 和 中	社 会 科	藤 浦 悟	教諭
石 越 中	社 会 科	伊 藤 圭	講師

平成25年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純	教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀	教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉	教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理	教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之	教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀	教諭
横 山 小	教 務 主 任	鈴 木 明 美	教諭
登 米 中	社 会 科	遠 藤 孝	講師
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6 学年	鈴木健太郎	教諭
登米小	6 学年	伊藤敬	教諭
米川小	6 学年	高橋寛	教諭
宝江小	6 学年	鈴木真亀子	教諭
豊里小	6 学年	千葉恵理子	教諭
米山東小	6 学年	五十嵐裕子	教諭
南方小	社会科	後藤善史	教頭
柳津小	教務主任	菅原満夫	教諭
新田中	社会科	箱石雄悟	教諭
豊里中	社会科	中津川秀樹	教諭

平成27年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	6 学年	佐々木理	教諭
錦織小	教務主任	岩渕安弘	教諭
加賀野小	6 学年	小幡秀明	教諭
米岡小	6 学年	佐藤智之	教諭
石越小	6 学年	門田洋之	教諭
東郷小	6 学年	金野ゆかり	教諭
佐沼中	社会科	及川正生	教諭
中田中	社会科	白石善郎	教諭

平成28年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北方小	6 学年	佐藤純	教諭
米川小	6 学年	佐藤理英	教諭
上沼小	6 学年	佐藤秀明	教諭
中津山小	6 学年	鈴木周一	教諭
南方小	6 学年	佐藤ゆかり	教諭
横山小	教務主任	浅野克樹	教諭
東和中	社会科	林佳舗	講師
南方中	社会科	鈴木一郎	教諭

平成29年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6 学年	高橋慎	教諭
米谷小	6 学年	阿部亘平	教諭
石森小	6 学年	高橋寛	教諭
浅水小	6 学年	佐藤真紀	教諭
西郷小	3 学年	佐々木芽衣子	教諭
柳津小	5 学年	佐藤育子	教諭
石越中	社会科	箱石雄悟	教諭
津山中	社会科	白石善郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成30年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	鈴木 一郎	教諭
登 米 小	6 学 年	後 藤 步	教諭
錦 織 小	6 学 年	岩 渕 安 弘	教諭
宝 江 小	6 学 年	遠 藤 寛 樹	教諭
豊 里 小	6 学 年	皆 川 玲 奈	教諭
米 山 東 小	6 学 年	千 葉 美 由 紀	教諭
登 米 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

令和元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
上 沼 小	6 学 年	村 上 喜 久 美	教諭
浅 水 小	6 学 年	及 川 史 子	教諭
中 津 山 小	6 学 年	林 智 美	教諭
米 岡 小	6 学 年	高 橋 宏 典	教諭
石 越 小	6 学 年	二 階 堂 奈 々	教諭
横 山 小	6 学 年	佐 藤 祐 子	教諭
佐 沼 中	社 会 科	田 口 直 彦	教諭
東 和 中	社 会 科	伊 勢 健 二	教諭

令和2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	三 浦 幸 恵	教諭
米 谷 小	6 学 年	川 村 愛	教諭
錦 織 小	6 学 年	瀬 渕 文 康	教諭
石 越 小	6 学 年	石 川 裕 佳 子	教諭
西 郷 小	6 学 年	高 橋 久 美 子	教諭
柳 津 小	6 学 年	鈴 木 操	教諭
中 田 中	社 会 科	木 村 伸	教諭
豊 里 中	社 会 科	遠 藤 孝	教諭

令和3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	高 橋 幸 恵	教諭
米 川 小	6 学 年	三 浦 咲 稀	教諭
加 賀 野 小	教 務 主 任	加 藤 英 樹	主幹教諭
豊 里 小	6 学 年	三 浦 幸 恵	教諭
南 方 小	6 学 年	佐 藤 光 史	教諭
東 郷 小	6 学 年	千 葉 崇 峰	教諭
東 和 中	社 会 科	佐 藤 文	教諭
南 方 中	社 会 科	吉 田 正 一 郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

令和4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6学年	鈴木美樹	教諭
登米小	6学年	佐藤正彦	教諭
宝江小	6学年	佐藤日向	教諭
中津山小	6学年	袋由利	教諭
米岡小	6学年	及川まゆみ	教諭
柳津小	6学年	加茂篤思	教諭
登米中	社会科	中津川英樹	教諭
津山中	社会科	藤浦悟	主幹教諭

令和5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北方小	6学年	小川裕輔	教諭
米谷小	6学年	成澤綾香	教諭
石森小	6学年	鈴木理英	教諭
上沼小	6学年	千葉美香	教諭
米山東小	6学年	三塚佑菜	教諭
津山小	6学年	西條裕之	教諭
新田中	社会科	清水裕治	教諭
石越中	社会科	油井芳人	教諭

令和6年3月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） 電話番号：0220-22-2501(代表)